企業・団体名（　取伊森林組合
）

（様式第3号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	□	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	コンプライアンス研修、メンタルヘルス対応、ストレスチェックなどを実行し個人情報保護に努め相談窓口を設置しています。、					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2		□	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	ハラスメント防止規定を整備し、相談・苦情への対応窓口を設置して未然に防止する体制を整えています。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3		□	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	職員組合と３６協定を締結、タイムカードによる勤務時間管理を行っています。								8.5 8.8									
4		□	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	外国人労働者は雇用していません。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5		□	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	労働安全衛生委員会を毎月開催し、リスクアセスメントの取り組みを実践しています。安全大会、安全講習会に積極的に参加しています。			3					8									
6		□	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	ストレスチェック、私傷病による休業、復職に関する規程を整備し、相談窓口を設置して対応しています。			3														
7		□	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	女性の準管理職登用、高齢者の継続雇用など実行し、広範な人材育成、職場環境の整備に取り組んでいます。					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8		□	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	人材育成は当組合の重要課題であり、内部研修、外部研修、資格取得に取り組んでいます。				4	5.5			8	9								
9		□	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	就業規則、給与規程等により、男女同一労働同一賃金を実施しています。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10		□	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	定期健康診断、特殊健康診断、ストレスチェック診断対応等実施しています。			3					8									
11	環境	□	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	分別処理を実施し、紙類は個人情報の有無を確認してリサイクルしています。											11.6	12.4		14.1			
12		□	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	電力使用量の把握実施及び工場の屋根を利用して太陽光発電に取組んでいます。							7.3						13				
13		□	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	事務室の照明等配線を細分化して必要な部分のみ照明するよう配慮しています。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14		□	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	特定化学物質取扱責任者を設置し適正管理しています。			3.9			6.3					11.6	12.4					
15		□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	森林整備を担う組合として、基本となる事項であり細心の注意を払い配慮しています。						6.6									15		

						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
16		□	【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	製材、プレカット端材は、チップ化してチップボイラー用に供給している。												12.5		14.1			
17		□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	生活用水の利用が主であり、無駄を排し節水の普及に努めています。なお、森林整備では水源林の保全に努めています。						6.4 6.6											
	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
18		□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	森林認証を取得して持続可能な森林経営を推進しています。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19		□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	ホームページで森林組合として一般の方々に森林管理を通じて環境問題に関する情報を提供しています。												12.6					
20		□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	木質バイオマス発電向けに燃料供給を計画しています。なお、現在はチップボイラー向けにチップの供給に取組んでいます。							7.2						13				
21		□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	森林認証材の取引及び製品認証材の取引を行っています。いずれも森林経営の持続性に配慮して取り組んでいます。												12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	コンプライアンスマニュアルを整備して毎年全職員を対象にコンプライアンス研修を実施しています。																16 16.5	
23		□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	全職員を対象にコンプライアンス研修を実施し、不正行為に関与しないよう説いています。																16	
24		□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	知的財産の重要性を説き、その保護に取り組んでいます。								8.2 8.3	9								
25		□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	個人情報保護規程、個人情報保護コンプライアンスプログラムを整備して適切に管理を実行しています。																16	
26		□	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	紛争鉱物は取り扱っていません																16	
27		□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	事業実行に際し、現場状況の把握を通じて生物多様性、生態系への悪影響の防止など申し合わせを実行し、倫理面での対応等共有して共に取り組んでいます。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サ	□	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	木材・木製品の取り扱いについては、安全性を確保し、製品の保管、フオークリフトの安全走行に配慮しています。			3.9									12.4					
29		□	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	木製品について製品認証を取得し、かつ品質についてグレーディングマシンにより乾燥度、強度等管理した製品を供給しています。									9								

30	ービス	□	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	『南信州木づかいネットワーク』を構成し木造、木製品の使用を働きかけ環境への配慮を普及しています。					6						12	13	14	15		
31		□	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	森林所有者に対し森林管理の重要性を説き、管理が困難な場合は当組合が代行する制度として森林管理委託を創設している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	社会貢献・地域貢献	□	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	南信州における森林管理と林業再生に向けて森林組合事業を集中して実行し、地産地消の経済を構築すべく努力している。				4					9		11	12		14	15		17
33		□	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	昼神温泉郷の自然環境維持のため、河川沿いの除草・ゴミ拾いをボランティア活動として実行している。				4							11			14	15		17
34		□	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	木材の利用、地域特産物(乾しいたけ・松茸等)の取り扱いについて地産地消を旨として宣伝・販売を実行している。								8	9		11	12	13				
35	組織体制	□	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	毎年事業実績・事業計画書を全職員・全組合員に配布し、特に経営状況、目標を分かりやすく文章化している。								8	9								17
36		□	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	コンプライアンスの徹底に向けて、全職員を対象に２回に分けて研修を実施している。																16	
37		□	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	組合組織として、指導部門・森林管理部門・林業再生部門の体制を整備している。																16	
38		□	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	広報誌を通じて情報を開示、又はホームページにて情報を提供して適切な対応を心がけている。																16	17
39		□	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	労働安全面では、リスクマネジメントを必須とし取り組んでいる。事業面では、チェックリストを作成し適正管理に努めている。																16	
40		□	【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	組合運動方針を策定し、組合の目指すべき姿を具体化して地域づくりの一員としての取り組み、特に環境保全に対する責任を果たすべく取り組んでいる。																16	
41		□	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	業務災害補償保険、火災保険等に加入し、事業継続体制を存続するよう対応している。									9		11		13 13.1			16	
42		□	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	人材育成を基本とし、職員採用についてはインターンシップを準備し、能力を確認の上採用している。								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

【記載留意事項】
・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
　（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）